



平成 28 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 井阪 隆一
(コード番号 3382 東証第一部)
問合せ先 IR 部シニアオフィサー 金子 裕司
(TEL. 03-6238-3000)

減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 28 年 10 月 6 日に平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算を発表する予定としておりますが、スーパーストア事業ならびに百貨店事業における収益計画を見直す過程におきまして、両事業の店舗に係る減損損失に加え、百貨店事業に係るのれんの減損損失を平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算において、新たに計上することになりました。

つきましては、平成 28 年 8 月 2 日に発表しました平成 29 年 2 月期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 2 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,035,000	182,000	180,500	83,000	93.87
今回修正予想(B)	2,866,000	181,500	182,500	33,500	37.88
増減額(B-A)	△169,000	△500	2,000	△49,500	△55.99
増減率(%)	△5.6	△0.3	1.1	△59.6	—
(ご参考)前期実績	2,994,992	172,459	170,686	84,521	95.60

2. 平成 29 年 2 月期通期連結業績予想の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,137,000	379,000	376,000	172,000	194.53
今回修正予想(B)	5,770,000	353,000	351,000	80,000	90.46
増減額(B-A)	△367,000	△26,000	△25,000	△92,000	△104.07
増減率(%)	△6.0	△6.9	△6.6	△53.5	—
(ご参考)前期実績	6,045,704	352,320	350,165	160,930	182.02

3. セグメント別営業収益・営業利益予想の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

(1) 営業収益

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績
コンビニエンス ストア事業	2,725,000	2,460,000	△265,000	△9.7	2,675,890
スーパーストア事業	2,125,000	2,070,000	△55,000	△2.6	2,060,516
百貨店事業	886,000	843,000	△43,000	△4.9	884,716
フードサービス事業	87,000	82,600	△4,400	△5.1	83,839
金融関連事業	205,000	203,000	△2,000	△1.0	192,487
通信販売事業	129,000	129,000	—	—	158,732
その他の事業	58,000	57,000	△1,000	△1.7	61,582
小計	6,215,000	5,844,600	△370,400	△6.0	6,117,765
消去および当社	△78,000	△74,600	3,400	—	△72,061
合計	6,137,000	5,770,000	△367,000	△6.0	6,045,704

(2) 営業利益

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績
コンビニエンス ストア事業	315,400	309,000	△6,400	△2.0	304,110
スーパーストア事業	25,300	11,500	△13,800	△54.5	7,234
百貨店事業	8,200	4,000	△4,200	△51.2	3,832
フードサービス事業	2,100	300	△1,800	△85.7	917
金融関連事業	51,400	52,000	600	1.2	49,697
通信販売事業	△10,500	△10,500	—	—	△8,451
その他の事業	4,600	5,000	400	8.7	5,559
小計	396,500	371,300	△25,200	△6.4	362,898
消去および当社	△17,500	△18,300	△800	—	△10,578
合計	379,000	353,000	△26,000	△6.9	352,320

4. 業績予想の修正理由

当社は平成 28 年 5 月 26 日に開催した第 11 回定時株主総会での承認を受け、新たな経営体制のもと中長期的な企業価値向上と持続的な成長を実現するために、中期経営計画の策定に取り組んでおります。今般、スーパーストア事業ならびに百貨店事業における収益計画を見直す過程におきまして、スーパーストア事業における棚卸資産の削減を図るべく、平成 29 年 2 月期下期に売価変更の影響等による売上総利益 110 億円の低下を見込む販売計画を決定したことに加え、両事業の店舗に係る減損損失および百貨店事業に係るのれんの減損損失を、平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算において新たに計上することになり、営業利益および親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、当社平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算発表は 10 月 6 日を予定しており、同時にグループの成長戦略と構造改革に関する企業価値向上に向けた中期経営計画の発表を準備しております。

<主な損失の内訳>

事業会社	内容	金額
イトーヨーカ堂	店舗に係る減損損失	150 億円
そごう・西武	店舗に係る減損損失	122 億円
連結	百貨店事業に係るのれんの減損損失	334 億円
合計		606 億円

(1)イトーヨーカ堂

株式会社イトーヨーカ堂におきましては、平成 27 年 10 月 8 日および平成 28 年 3 月 8 日に発表しました事業構造改革に基づき、収益性の厳しい店舗の閉鎖やテナントの導入による売場活性化、本部人員の適正化に伴う生産性の向上等を進めるとともに、主に販促費の抑制による販管費の削減に努め、収益性の改善を図ってまいりました。

しかしながら厳しい消費環境が継続し、営業収益が当初発表予想を下回って推移する中、棚卸資産の削減を図るべく、平成 29 年 2 月期下期に売価変更等の影響による売上総利益 110 億円の低下を見込む販売計画を決定したことにより、平成 29 年 2 月期の営業利益予想を下方に修正するとともに、店舗に係る減損損失 150 億円を、平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算において新たに計上することになりました。

(2)そごう・西武

株式会社そごう・西武におきましては、平成 27 年 10 月 8 日、平成 28 年 3 月 8 日および同年 8 月 2 日に発表しました事業構造改革に基づく店舗閉鎖や希望退職の募集等を進めております。しかしながら、衣料の売上不振に伴う荒利率の低下による収益性の悪化が続いていることから、平成 29 年 2 月期の営業利益予想を下方に修正するとともに、平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算において店舗に係る固定資産について、減損損失 122 億円を新たに計上することになりました。

(3)連結

株式会社そごう・西武の業績が当初策定した計画を下回って推移していることから、今後の事業計画を見直し、回収可能価額を慎重に検討した結果、同社に係るのれんの減損損失 334 億円を平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算において計上することになりました。

なお、前回予想時に想定した為替レートに対して大幅な円高で推移しているため、通期の為替レートにつきましては、米ドル 115.00 円(前回発表予想)を 106.00 円、人民元 19.00 円(前回発表予想)を 16.00 円へ変更しております。

注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なる場合があります。

以 上